

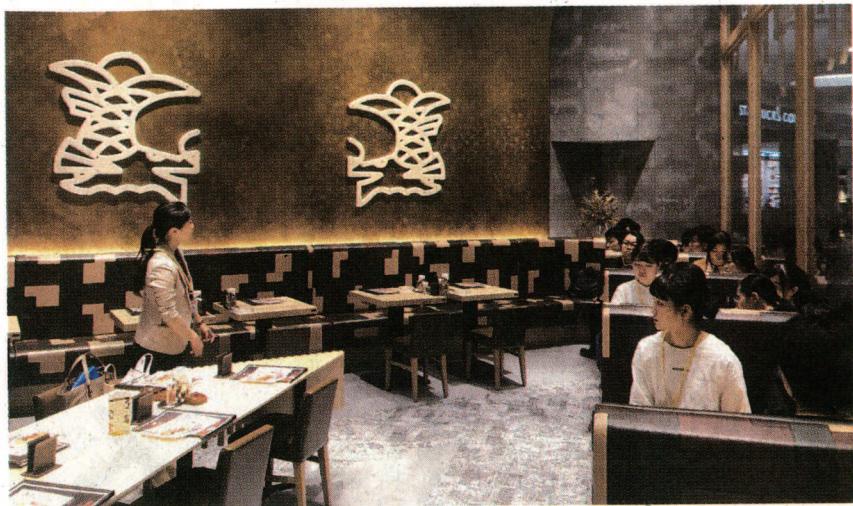


SDGs

地域から発信

日本青年会議所の取り組み

21



店舗見学で経営企画室スタッフから説明を受けるインバーン生

「ファーストキャリアで選ばれにくい外食産業。その仕事内容を知つてもいたい」（高橋副社長）と、18年から本格的に活動が大学生を受け入れだ。

インターンのキャリアで選ばれにくく、力を入れて取り組む

「教育」を重視する。中でも今、力を入

れて取り組む

番目に掲げる「教育」を重視する。中でも今、力を入れて取り組む

「教育」を重視する。中でも今、力を入れて取り組む

「教育」を重視する。中でも今、力を入れて取り組む

若鮓家

高橋 雅大 副社長

「食文化に貢献できる仕事を知つてほしい」—。中部・

関東地方でカレーランチ専門店を開拓する若鮓家（名古屋市北区、高橋知子社長、052・913・1100）の高橋雅大副社長は、こう強調す

る。同社は2019年に日本青年会議所のSDGs推進会議の副議長を務めた高橋副社長を筆頭に、「人」を大切にする会社づくりを行っている。

若鮓家は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）が4

番目に掲げる「教育」を重視する。中でも今、力を入れて取り組む

「教育」を重視する。中でも今、力を入れて取り組む

「教育」を重視する。中でも今、力を入れて取り組む



学生たちがチームを組み、インターンプログラムに挑む

学生教育、食文化・仕事伝え続ける

5日間にも及ぶインターンプログラムの最終的なゴールは、チームでの新メニュー開発。高橋知子社長に対してプレゼンをする。ただし、新メニューを提案するだけではない。若鮓家の経営理念を理解した上で、若鮓家の店舗で売れるメニューを提案するのが学生に与えられた使命だ。そのための実店舗の見学や市場の把握、原価計算や、料理する工程をふまえ

たメニューづくりを学生に求めることだ。高橋副社長自身の経歴にある。1994年、日本青年会議所のSDGs推進会議の副議長に就任。先頭に立ってSDGsを推進する団体の代表として「日本各地、講演をして回った」（同）という。

同社がSDGsを特に意識し始めたきっかけは、高橋副社長自身の経歴にある。1994年、日本青年会議所のSDGs推進会議の副議長に就任。先頭に立ってSDGsを推進する団体の代表として「日本各地、講演をして回った」（同）という。

学生アルバイトとして身近な外食産業。一方で「長時間労働」や「低賃金」などのイメージもある。そこから若鮓家は教育と組み合わせて、学生たちに「外食産業の仕事」